

愛潤の果て

ゆ  
う  
も  
ん  
の  
は  
て

Ⅹ



あ

成人向

憂悶 ゆうもん

の果 は

・ 蹂 じゅう





—君に投与した  
薬剤は他の婦警達  
とは別に…

特別な調合が  
施されていた…

私の  
汗の成分だよ

そう…



はじめから  
仕組まれて  
いた訳さ

特に私の  
フェロモンに  
対し

：君は  
性フェロモン  
全般から

過剰に反応  
する様：

驚いたかな  
……？



つまり君は

はじめから  
私に対して

より強く劣情を  
催す女にまさよう  
仕込まれていたのだ

……

なんて……  
事……



君はその都度  
私のフロモンを  
無意識に臭を取り

その臭いに  
欲情して  
いたのだ...



そう



忘れてきたのだ

憎い憎い  
忍み嫌う  
この私とね



...いったい  
何度ニうして  
私と二人きりで  
話したかな...





……二  
……二  
……二  
こんな  
動物  
的な  
反応……

愛や恋に  
例えないで……



いや……  
老介

人に惹かれると云うのは  
フェロモンとホルモンの  
為せる技だよ



相手の臭いを  
愛しく感じる  
……

自然界に  
おける  
それら  
すべて……

キュウ  
ウウ

鋤鼻器官による  
動物的本能だ



……ならば  
質内を変えよう……



どうだね  
私を愛おしく  
感じるだろうか？

だ……  
だ……

……が



……私に  
抱かれましたらう

ビクビク



……  
そのために  
来たのだから  
……



私……

私……  
求めてる……



この男に  
.....



私の肢  
体  
が.....



カレ  
に.....

抱か  
れる  
事.....

コ  
コロ  
が  
.....



.....愛して  
いるの...?  
私.....



カレ  
を  
愛  
しく.....

恋  
しく.....  
想  
う  
ん  
て.....



こんなに  
たまらないの？！

ああ：  
どうして…  
どうして…  
……

恋しくて  
たまらない…

キュウ  
ウウ

——ミスゴク  
愛しい……

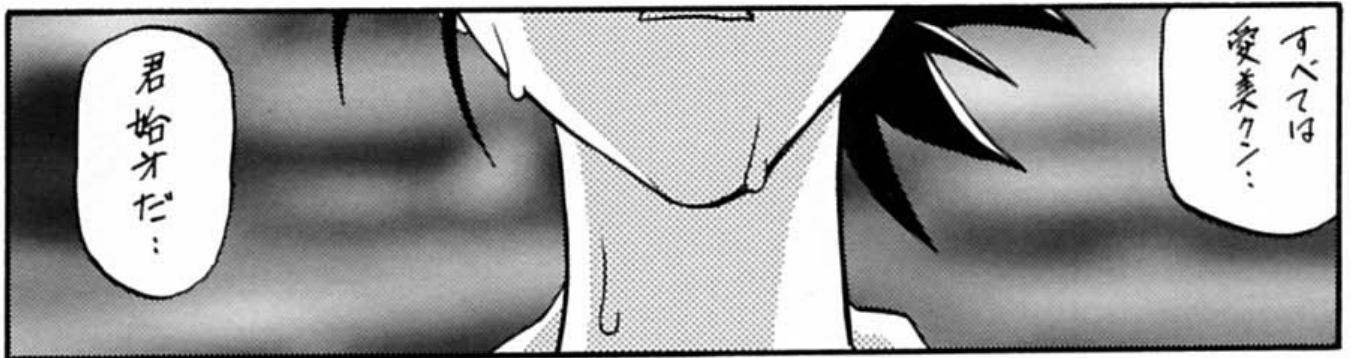
ガク  
ガク  
ガク

その人が…

好き……

私……

みんな…  
ヤツの事…





わ：私……  
森川：めぐみは  
……

あ、  
愚かしくも……  
さ：沢村隊長を  
煩悩す行い……  
ばかりを重ね……  
は……

んは、  
罵倒を……  
くり返した  
非礼の数々を  
あ、

あ、  
く……口……  
答えや……

あ、  
どうか  
どうか  
お救し……  
下さ……  
は……



フフ……  
よろしい  
間違ってたど  
認めるのだね

ハ……ハイ、  
ああ……

み……  
認めます……



……では  
もう一人の非礼も  
認めてもらおうか  
……

……え……



君の父上  
だよ……

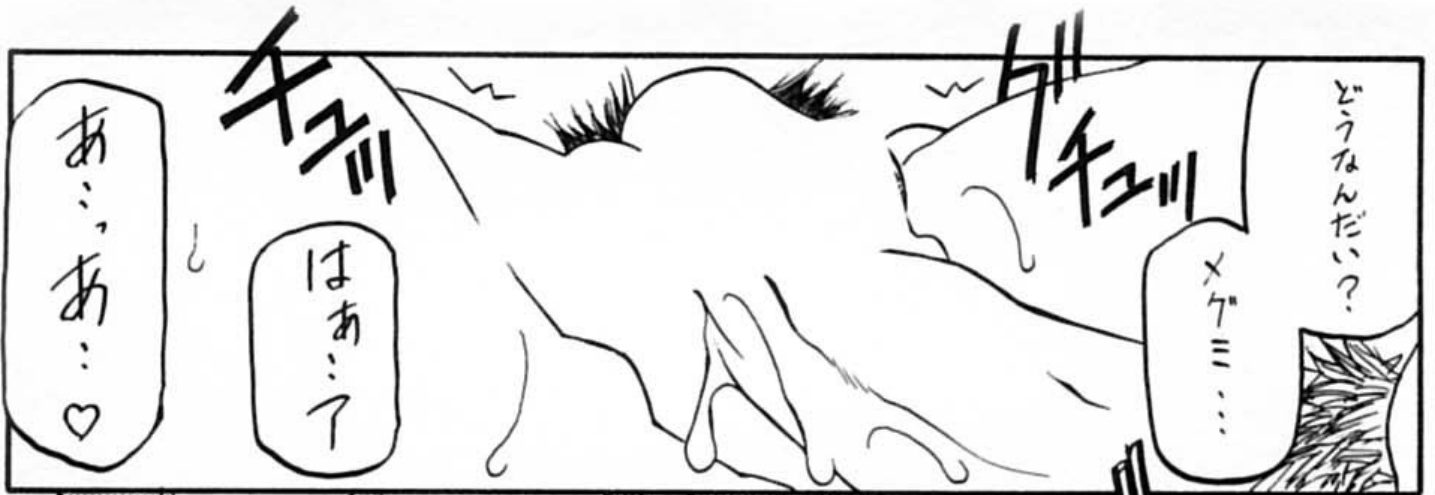
お……お父  
……さ……



そう……  
父上に聞しても  
言うべき事が  
あるだろう

あ、

はあ？……  
あ、





……わたし……

父娘とで……  
沢村様を  
侮辱した……

森川……  
めぐみは……

沢村様の……  
崇高なお考えを……  
……理解……  
できない……

お……愚かな  
父の判断を……  
正しいと信じ込み……

か……考えの浅い  
親子……でした……  
お……お赦し……

ください……

ガクガク

ビク



ああ……

み……  
認めます……

あ……

……父は……  
……母……

お……  
お……か者……  
……です……



……君の  
父上か愚か者だと  
認めるんだね？

あ……  
あ……う……

ハ……  
ハ……イ……